

■世界：国連事務総長、パリ協定の批准を要請

2016年8月8日付の報道によると、潘基文国連事務総長は、ブエノスアイレスで開催された会議の席上、2015年末に締結されたパリ協定について、各国、特に温室効果ガスの二大排出国である中国と米国、さらにはラテンアメリカ第3位の経済規模であるアルゼンチンに対して早期の批准を求めた。現時点で批准している国は22カ国で、小国や島嶼国が中心となっている。同協定は、全世界の温室効果ガス排出量の55%を占める55カ国が批准することが発効の条件となっている。